

FRIENDS OF GREEN

フレンズ
オブグリーン

緑友会コミュニケーション誌

MAY.2004. NO.113

発行人 森田隆司 京都青年印刷人月曜会
編集人 京 都 青 年 印 刷 人 月 曜 会

INDEX

- ・ 御礼挨拶 金沢大会総務委員長 越原寿朗
- ・ 金沢大会を終えて 金沢大会実行委員長 永野琢也



 全国印刷緑友会

御礼挨拶

金沢大会総務委員長
越原寿朗

2003年9月13日（土）金沢の地において全国大会を開催致しました。今回は金沢弁で「ゆったり」という意味の「おんぼらあと かなざわ」をテーマとし、普段あくせくされている皆様に金沢時間の中でおんぼらあととしてもらえるような企画をたてました。また今回は金沢の特色である「伝統」、「文化」、「食」といった拘りを、式典から懇親会を通して随所に取り入れ、金沢づくしのおもてなしをさせて頂いたつもりです。金沢メンバー全員による精一杯のおもてなし、皆様ご満足頂けましたでしょうか？

<式典>

オープニングは厳かな雰囲気の中、西茶屋街芸姑さんの西川八重治さん、藤舎秀扇さんによる一舞一管「鶴の三番叟」で幕があがりました。金沢では会合や宴席のオープニングアトラクションを芸姑さんをお願いする場合があります。金沢づくしの第一弾でした。森田緑友会長、永野実行委員長、山出金沢市長、高桑石川印刷工業組合理事長のご挨拶による一連のセレモニーの後、いよいよ今回のメインイベント金沢づくし第二弾の金沢ミニバスツアーとなりました。

コースは次の5コースをご用意させて頂きました。

「からくり寺と五彩の華開く久谷の世界へ」

忍者寺→ 九谷焼光仙釜

「華やかな加賀友禅の世界へ」

加賀友禅伝統産業館→ 玉泉園→ 石川県立歴史博物館

「雅な和菓子とわび茶の世界へ」

石川県菓子文化会館→ 東山茶屋街（懷華桜）

「豪華絢爛金箔工芸の世界へ」

箔巧館→ 石川門

「百万石の精華、味覚と視覚の世界へ」

やちや酒造→ 兼六園

このミニバスツアーただ単に金沢観光するという意味合いのものではなく、全国から来る方々に金沢の良い所をほんのちょっとお見せし、お互い同じ時間を共有することで親睦も図って頂くことが趣旨でした。そのためコース分けをクラブ毎とはせず、メンバーを分散させて頂きました。コース選択については公平をきすため各コース代表によるくじ引きに致しました。このコースは当クラブのメンバーが実際にまわって体験してみて、楽しかった所を更に厳選して企画したコースでした。手前みそかもしれませんが結構皆さん楽しまれていたように感じました。当日は心配された雨もさほどの事ではなく、用意した傘が無駄にはなってしまいましたが、事故、怪我、時間遅れ等も無く無事バスツアーを終える事ができました。

また思いがけず、バスガイドさんが少々素人ぽかったものの若くて綺麗な方ばかりだった事もみなさんを満足させたのではないかと思います。

<懇親会>

金沢づくし第三弾は、懇親会前のウエルカムドリンクとしてお抹茶のサービスをしました。それらしい雰囲気醸しだしている赤い番傘の下で、宴席前にちょっと一服という趣向でした。ここで裏話を致しますと、当日お茶を出してくれたのは着物を着た清楚な金沢美人でしたが、実際裏でたてていたのはその日初めて習った素人集団だったのです。濃いのもあれば、薄いもあり、熱いものもあればぬるい物もあると、実際に嗜まれている方からみるとお茶の世界を全く馬鹿にしたものになってしまいました。あくまでも金沢らしい雰囲気作りという目的でしたので強行させて頂きました。不審に思われた方にはこの場を借りてお詫び申し上げます。

18時30分オンタイムで懇親会がスタートしました。懇親会オープニングアトラクションでは金沢づくし第四弾として、野村祐丞氏、野村扇丞氏、炭哲男氏による狂言「蝸牛（かぎゅう）」を演じて頂きました。式典の時のような厳かな雰囲気の中にも、狂言独特な笑いも混じり、食事前にも関わらず20分という時間をほとんど感じさせなかったオープニングアトラクションでした。予算的にもここにかかなりの金額を投入しており、今回の目玉の一つだったのですが皆様の目にはどう映られたでしょうか。

お食事は、加賀懐石を中心としたコース料理に当地の地酒コーナーをご用意し、金沢の食を堪能頂きました。お食事実は、食の金沢に妥協は許されないと当該委員会のメンバーが身銭をきって試食し厳選したものをお出ししました。地酒コーナーにおいては用意したお酒が30分くらいで無くなってしまい、急遽追加したほどの盛況ぶりでした。

みなさまのお腹もやや満たされた頃に金沢づくし第五弾として、加賀獅子舞を大野町獅子舞保存会の皆様に演じて頂きました。前田利家公の頃から武術鍛錬のためとして長く引き継がれている伝統的な獅子舞です。笛、太鼓の生演奏に威勢のよい獅子舞はお祭り気分をさらに演出してくれました。

懇親会の後はみなさん2次会に三々五々行かれたと思います。金沢の夜はいかがだったでしょうか？

<終わりに>

1年半ほどかけて準備してきた金沢大会でした。まず、「より多くの登録を頂ける企画を」と半年くらい方針を決めるためだけで喧々諤々やっていました。役員会の中で様々な意見が出ましたが最終的にやはり奇をてらうよりも正攻法で行こうという事になり、金沢尽くしのおもてなしに至りました。しかし金沢づくしとは言うものの皆様には今回金沢の良いところをほんのちょっとしかお見せしてません。まだまだ奥が深いです。是非またの機会に金沢にいらして「おんほらあ」として行って下さい。金沢までお越し頂いた皆様本当にありがとうございました。

金沢大会を終えて・・・ 所感

金沢大会実行委員長

永野琢也

今大会は金沢青年印刷人クラブにとって平成元年以来15年ぶりの開催でした。約50人を有する当クラブは新旧のメンバーが交代し、当クラブ活動の活性化や求心力の強化、緑友会への参加意識を高めるためにも大会を受けるにはとてもいい時期だったと思います。

大会、総会、セミナー主管を経験していないメンバーにとって、仕事には関係ない折衝や委員会での細かな打ち合わせは煩わしい事だったかもしれませんが、本当に全員が一所懸命、努力、活動していただき、こんなに素晴らしい大会を運営できたことを私は誇りに思い、あらためて当クラブの底力を感じ得た次第です。

大会が成功裡に終わったことも、金沢に遠方よりおいでくださる緑友会メンバーの心意気を大切に受け止め、記憶に残る思い出を作ってもらうために、緑友会の素晴らしさを理解し友情を深めてもらうために、我々が出来る限りのおもてなしをしようと全員が決意し、行動したおかげです。

大会のコンセプトは一昨年の中河ドラマ「利家とまつ」で加賀百万石が舞台だったので「金沢の文化」をメインにしました。そして岐阜大会の「知力」、名古屋大会の「体力」と続くのなら金沢大会は一服休憩して、のんびり楽しんでもらおうと思いました。

当たり外れはありましたが、ミニバスツアーは内的には参加人数の多い少ないでツアーを調整できる点、外的には特色ある金沢の文化を体験することで見知らぬメンバーと仲良く交流できる点で良い企画だったと思います。皆様には日頃できないいろいろな体験をしてもらい、なかなか楽しかったのではないのでしょうか。

大会が「よかった」と感じられるか否かは、参加した皆様がいかに感動を与えるかどうかです。金沢のメンバー全員がホスト役に徹し、おもてなしをする側と受ける側との心の交流が大事です。バスの中でのおしほり、ホテルへチェックイン後のウェルカム名入カードとねぎらいのお水、式典での一舞一管、懇親会前の生ビールとお抹茶のサービス、狂言、獅子舞、懇親会のお料理の質の高さ、一万円の地酒、総勢36名のコンパニオン？我々が考えた演出が皆様に少しでも感銘を与えることが出来たら幸いです。

緑友会行事の見直しの声があがっていますが、大会は地域色豊かに行い、会員同士大いに語り合い、笑いあい深い友情を結んでもらう場として開催してもらいたいと思います。

最後に多くの皆様にお集まりいただき、皆様のご尽力のお陰をもちまして盛大に開催できましたことを心より厚くお礼申し上げます。

・ R E P O R T & P H O T O ・

第46回全国印刷緑友会金沢大会



第46回全国印刷緑友会金沢大会 金沢ミニバスツアー

からくり寺と
五彩の華開く九谷の世界



〔からくり寺にて〕

豪華絢爛金箔工芸の世界



〔金箔館にて〕

百万石の精華、視覚と味覚の世界



〔百万石にて〕

麗な和菓子と茶の湯の世界



〔和菓子館にて〕

華やかな加賀友禅の世界



〔加賀友禅博物館にて〕

